

阿蘇市の“いま”を 市長が直接伝えます！

平成25年度 市政報告会のご案内



市政報告会で説明する佐藤市長

市

長をはじめ教
育長、副市長
各部長が市民の皆さ
まに直接お会いし、

市長と直接お話し
してみませんか？

市で取り組んでいる
主な施策について説
明を行います。

市長が全ての会場
に出席し、本年度取
り組んでいる施策に
ついて説明します。

市政報告会は、市
の様々な取り組みに
対し理解と信頼を深
め、市民の皆さま一
人ひとりが市政に興
味・関心を持つてい
ただくことを目的に
毎年開催しています。

また、市民の皆さ
まからのご意見をお
受けし、市政に積極
的に参加していただ
きたいと考えていま
すので、ぜひご参加
いただきますようお
願います。

<会場・日程>

<時間>午後7時から午後9時まで

開催場所	期 日	会 場
波野地区	10月11日(金)	波野保健福祉センター
山田校区	10月16日(水)	J A 阿蘇中部営農センター
黒川・役犬原地区	10月18日(金)	阿蘇小学校体育館
尾ヶ石東部校区	10月21日(月)	尾ヶ石東部小学校体育館
乙姫地区	10月22日(火)	旧乙姫小学校体育館
阿蘇西校区	10月23日(水)	阿蘇西小学校体育館
内牧校区	10月24日(木)	農村環境改善センター
古城校区	10月28日(月)	古城公民館
中通地区	10月29日(火)	中通公民館
坂梨校区	10月31日(木)	坂梨公民館
宮地校区	11月 1日(金)	就業改善センター

※どの会場にお越しいただいても構いません。

(問い合わせ)
総務課 秘書広報係
☎22 - 3111

皆さんが参加し、多くの声をいた
だくことで、阿蘇市の未来が切り
拓かれます。みんな来てモ～！





初秋の阿蘇路を満喫

大阿蘇元気ウォーク



第3回大阿蘇元気ウォーク2013が9月1日、阿蘇神社東側中央駐車場をスタート・ゴールに開かれ、参加者たちは初秋の阿蘇路を楽しみました。

2日間で計画されていたものの、台風の影響で8月31日は開催を中止。当日はあいにくの雨模様となりましたが、全国から750人が参加しました。

出発前に福島県から参加の山田卓男・セツ子夫妻の音頭で「エイエイオ」と全員で氣勢を上げ



ウォーキングがスタート。参加者たちは20キロ、10キロ、5キロの各コースに分かれ、田園地帯の風景や参加者同士で会話をしながらゴールを目指しました。

坂梨の宿場町を巡るコースには、忍者劇で知られる俳優の山田邦博さん（大津町）率いる市職員11人扮する忍者隊がサプライズで登場、参加者たちを楽しませていました。

④ 出発時のようす
⑤ サプライズの忍者劇で会場を沸かす山田さん

調査進む「平原古墳群」 阿蘇の古墳時代解明に期待

熊本大考古学研究室が発掘調査



う葺石^{ふきいし}の出土状況の測量や記録写真の撮影を行いました。当初予定していた現地説明会は台風15号接近のため中止となりましたが、調査を無事に終えました。

同研究室では、今後も平原古墳群での調査を継続する予定です。



● 古墳群に関する問い合わせ
教育委員会 社会教育係
☎ 22・3229

半世紀ごしの夫婦の絆 80組の金婚祝う



熊本日日新聞社の秋元敏郎事業局長から、代表して表彰状を受け取る
笹田陽三・和子夫妻

結婚50年を祝う第55回熊日金婚夫婦表彰及び阿蘇市金婚式が9月4日、市内ホテルで開催されました。ことし対象となったご夫婦は昭和38年に結婚した80組で、式典には59組が出席しました。

熊本日日新聞社が主催する金婚夫婦表彰は、天皇后両陛下のご成婚を記念し、昭和34年に開始。これまで県内で14万6千組を超える夫婦を表彰しています。式典では、佐藤市長が一組ずつ表彰状を手渡し、「幾多の苦難を乗り越え、今日の郷土発展の基盤を築いてこられた功績に、心から感謝します」とあいさつしました。

最後に高宮今朝秀・サヨ夫妻が「まちづくりや地域づくりで、私たちが培ってきた経験と知識が役立てれば、惜しみなく協力させていただきたい」と代表謝辞を述べました。

(敬称略)

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
工藤 常人・尚美	(北1区)	山部 芳一・タヤ子	(内牧1区)	石田 満雄・八須子	(乙姫)
坂梨 禮二・多恵子	(北2区)	三城 郁朗・悦子	(内牧2区)	岩下 幸弘・祥子	(乙姫)
石崎 義彌・直美	(東1区)	村上 節雄・治子	(内牧2区)	上島 勲・増子	(乙姫)
森本 文生・時代	(東2区)	飯干 忠・イヨ子	(内牧3区)	江藤 捨喜・ミキコ	(乙姫)
杉本 輝男・秀子	(西1区)	成瀬 廣・弘子	(内牧5区)	岡本 司・朋子	(乙姫)
山口 俊則・タケ子	(西1区)	稲實 周清・シゲ子	(小里)	後藤 辰雄・タケ	(乙姫)
片山 賢郎・美奈子	(西2区)	江藤 宗敏・蘇代子	(小里)	相良 光範・シゲ子	(乙姫)
笹田 陽三・和子	(古神1区)	村上 邦昭・哲子	(小里)	那須 道弘・ミチ子	(乙姫)
田尻 清喜・勝子	(古神1区)	伊藤 廣義・ヨウ子	(湯浦)	永田 智昭・照子	(永草)
岩下 公義・シズ子	(古神2区)	高宮 今朝治・キヌ子	(湯浦)	高藤 正敏・トシ子	(永草)
荒木 勉・安子	(古神3区)	坂本 光信・ユキ子	(折戸)	財津 哲夫・初子	(枳)
佐々木 満男・サトミ	(古神3区)	阿部 敏治・邦子	(宇土)	吉田 勇・シズ子	(枳)
大塚 保光・アキ子	(分2区)	佐伯 朋史・恵美子	(山田)	中尾 博文・ハマ子	(赤水)
山部 安廣・ケサヨ	(分2区)	岩下 静也・秀子	(黒流町)	藤原 勲・帝子	(赤水)
今村 政雄・ヤス子	(分3区)	高宮 今朝秀・サヨ	(黒流町)	渡邊 諭・マリ子	(赤水)
大野 信雄・ハナ子	(分3区)	大和 信敏・ケイミ	(今町)	杉田 國興・ヨウ子	(狩尾1区)
山部 武記・美加子	(塩塚)	黒川 勇・千津子	(新村)	黒木 袈裟春・清子	(狩尾2区)
高木 守成・エイ子	(古閑)	志賀 一太・テツ子	(小野田町)	灰瀬 哲夫・妙	(狩尾2区)
市原 拓二・ユキ子	(神石)	嶋野 洋資・芙蓉子	(小野田町)	石本 範正・シミ子	(跡ヶ瀬)
上村 良一・千美子	(神石)	森 範雄・トヨ子	(道尻)	杉島 利光・雪美	(跡ヶ瀬)
上村 恵・ハツ子	(東仲町)	山口 四介・サヨ子	(上役犬原)	中本 誠一・シズカ	(的石)
志賀 昭久・キヨ子	(東仲町)	幸 清・トサ子	(東黒川)	安藤 明・倫子	(赤仁田)
高木 民男・都	(下町)	元田 國昭・峰子	(坊中)	橋本 幸生・フミ子	(小地野)
後藤 光春・ハルミ	(馬場)	山代 力・テルヨ	(坊中)	伊藤 辰則・チヨミ	(中江)
和田 邦基・三千代	(古城5の2区)	和田 朝幸・澄子	(坊中)	岩下 和海・サチ子	(中江)
和田 勝之・智子	(上井手)	蔵原 博美・康子	(上西黒川)	工藤 一男・幸子	(滝水)
下村 謙一・サツミ	(内牧1区)	小林 議・濱子	(上西黒川)		

昭和38年は
どんな年？

●テレビアニメ「鉄腕アトム」放映開始 ●5市が合併し北九州市が誕生。全国6番目の政令指定都市に ●日暮里（東京）大火が発生 ●日本初の高速道路「名神高速道路」開通 ●伊藤博文肖像の新千円札が発行される ●アメリカのケネディ大統領が暗殺される



学生の目線でより良い観光都市を目指す

【その他の意見】

- 魅力的な場所をつなぐ動線が薄いことから、レンタル自転車の活用を促進してみてもは。
- スイーツめぐりは、見やすい地図にして、観光客をひきつけるネーミングの工夫が必要。
- 路線バスは、最寄りの観光地を併記したり、車内に情報紙を設置したりするなど、観光客に分かりやすく。
- 空き家対策や、交通渋滞の緩和対策を行い、人を招き入れることが大事。

市役所でプレゼンテーションを行う学生たち



市では、学生視点で観光のあり方や課題、提案などを今後の観光まちづくりに生かそうと、8月26日から9月5日にかけて、大学生5人を受け入れ観光インターンシッププログラム※を行いました。

学生は、9月1日に行われた「大阿蘇元気ウォーク」でイベント運営を学んだほか、商店街での就業体験を通して観光に関する課題や現状などを調査。最終日に発表しました。

東海大学観光学部観光学科3年の宮本理沙さんは、阿蘇一の宮門前町商店街をテーマに『足もとをみてみよう!』と題し成果を発表。より良い商店街づくりとして、休日など限定的に車両交通規制を行うことや、冬季イベントの充実を図るなどを提案。

また、商店街に設置されたベンチに着目し、「ベンチを定期的に清掃し多くの人に座ってもらい、ベンチからコミュニティを豊かにできれば」とこれからの商店街の活性化に期待を込めました。

※大学在学中に企業などで就業体験できる制度のこと。

土砂災害で流出した権現様、奇跡的に発見

ごんげんさま



竣工祭のようす。
中央男性が和田基さん。

一宮町手野地区の権現様を祀る権現社が新築され9月16日、氏子や住民が出席し、竣工祭が行われました。

この権現様2体は、昨年の豪雨災害時に土砂崩れにより一時行方が分からなくなっていたものの、建設業者による瓦礫撤去工事中に奇跡的に発見されたものです。権現社が完成するまでは、平権現社総代の和田基さん宅に一時的に祀られていました。

竣工祭後は、直会が行われ住民たちは竣工を祝福。和田さんは「見つけたのは本当に奇跡的。無事に移すことができて安心した」と安堵した様子で話していました。

阿蘇囲碁同好会、災害を乗り越え再開

阿蘇囲碁同好会（村山文明会長、65人）が9月2日、昨年の豪雨災害により休止していた活動を再開しようとして、碁盤や碁石の洗浄作業を行いました。

昭和30年代発足の伝統ある同会は、発足以来、月1回の活動を一度も休会したことがない、会員に親しまれた会でしたが、昨年の土砂災害で活動場所であった一の宮高齢者センターが被災。碁盤や碁石の多くが流出し、休会を余儀なくされていました。

今回の作業で、不足していた道具を整え、いよいよ9月から活動を再開する。



活動再開の前に碁盤を丁寧に拭きあげる会員の皆さん

開。同会は肥後本因坊の畠中忠俊さん（29歳）をはじめ、8段3名、6段6名など県下有数の囲碁会でもあります。興味のある方は同会（☎22・0460）まで。